

中泊施設めぐり (8)



滝ノ沢ふるさと砂防愛ランド

小規模のキャンプ施設と川沿いには遊歩道が整備されており、清涼な山の空気を満喫できます。約3,000本のツツジが植えてあり、夏の夜にはホタルが飛び交います。また、その先には美しい瀑布が楽しめる不動の滝があります。



不動の滝

中泊町の公共施設を知っていただくための三回目です。今回は夏の観光シーズン目前ということで、観光施設、観光スポットを紹介します。



中里城跡史跡公園

平安時代後期(11世紀代)の古代防御制集落を復元したもので、堅穴建物のほか展望台、芝生広場、遊歩道などが整備され、復元された古代の集落を通して、自然、社会と人々との関わりについて学習したり、新たな地域創造の舞台として開放されています。



森林公園ふれあいセンター

青森ヒバ材で作られたふれあいセンター・コテージは木のぬくもりとあたたかさが感じられます。周辺の森林公園・運動公園では、遊歩道で自然に触れながらハイキングやナイター設備のあるテニスコート、子供の遊び場など大人から子供まで楽しめます。



吉田松陰遊賞の碑・十三湖岸公園

幕末の志士吉田松陰がこの地を訪れ、日記に「真の好風景」と書き残したことを後世に伝えるため湖畔に碑を建立。この碑を中心にゆとりの駐車帯や十三湖岸公園が整備され、湖畔から夕日に染まる十三湖が美しく映えます。シーズン中は多くのしじみ採りをする行楽客でにぎわいます。



中泊町地域特産物直売施設「ピュア」

トマトがシンボルマークの中泊町地域特産物直売施設「ピュア」は、広域農道(通称・米マイロード)沿いに立地し、施設内には無料休憩所やトイレが整備されています。町の特産品や加工品、取れたて新鮮野菜や花きを販売しています。



マリントピア折腰内

竜泊ラインの入り口にあり、小泊の地場産品をそろえた売店、レストラン竜泊などがある道の駅「こどまり」(ポントマリ)、折腰内オートキャンプ場、折腰内海水浴場が併設された複合交流施設です。



道の駅「こどまり」(ポントマリ)



折腰内オートキャンプ場



ライオン海道

小泊の入り口にある全長1,952mの臨港道路。73mのライオンゲートブリッジと520mのライオンベイブリッジがあり、左右の欄干の端にライオン像8基、ライオンベイブリッジの途中に有翼のスフィンクス像が設置されています。眼下のライオン岩や日本海、岩木山の絶景が楽しめます。



小泊マリンパーク

海を眺めながらの散歩コースに最適です。また、海水浴場、緑地広場やトイレ・シャワー室を備えた安らぎの公園です。



小説「津軽」の像記念館

太宰治の名作「津軽」のクライマックス、幼年時代の子守りで、育ての親ともいふべき「タケ」と30年ぶりに再会する場面を再現した小説「津軽」の像は、二人が出会った小泊小学校の運動場が望める場所に文学碑とともに静かにたたずんでいます。像のすぐ隣にある記念館では、「津軽」が誕生するまでの経緯や、タケと太宰の出会いの場面について、貴重な資料や映像を通して知ることができます。



徐福の里

徐福像

約2,200年前、中国の秦の始皇帝に仕えていた徐福が、その命により不老不死の仙薬を求めて船出し、東日流の尾崎(小泊)に漂着したとされる徐福伝説。その伝説にちなみ、平成14年に徐福像を建立しました。台風の影響により平成16年にライオン海道沿いに移設し、周辺一帯を徐福の里として整備しています。